

学習内容報告書 フォーマット

学校名	糸島市立姫島小学校
授業者	3・5年担任 河手 美希 教頭 辻 政信

1. 単元計画

1-1. 単元名

海の豊かさを守ろう

1-2. 学年

3・5学年（複式）

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

1 姫島の海のことについて調べよう（15時間）  
①海辺を散策しよう（2時間）  
②課題・学習計画作り（2時間）  
③姫島で釣れる魚について調べよう（2時間）  
④姫島の海の豊かさについて考えよう（4時間）  
⑤マリンワールド見学して、海の豊かさについて学ぼう（5時間）

2 姫島の海の豊かさを味わおう④  
シュノーケリング体験

3 姫島の海の豊かさを守ろう（16時間）  
①これまでの学習の振り返りをしよう（2時間）  
②海岸のゴミを拾おう（2時間）  
③海のゴミについて調べよう（2時間）  
④文化祭で豊かな海を守るための劇をしよう（10時間）

4 海の豊かさを守る活動を広げよう（35時間）  
①仲間とつながろう⑥（他の離島の学校と交流）  
②プラスチックごみを集めてリサイクルしよう⑮  
③活動の振り返りとまとめをしよう④

1-5. 単元設定の理由・ねらい

海に囲まれた環境で生活している子どもたちにとって、この環境は当たり前のことであり、特別に海について関心があるという雰囲気はなかった。しかし、大人たちの多くは、海の豊かさは急速に失われつつあると感じている。かつての姫島では、春にはもずくやわかめがたくさん取れていたが、今は磯焼けのため、海藻類が育たなくなっている。また、近年明らかになってきたマイクロプラスチックをはじめとする海洋ごみの問題や地球温暖化による生態系への影響など、様々な課題がメディアの話題に上っている。子どもたちの家はみな漁業を営んでおり、将来は漁師になると決めている子もいる。海からの恩恵をこれからも受け続けるためには、今すぐ海の環境を守る取り組みをはじめなければならない。

姫島小学校の総合的な学習の時間のカリキュラムを見ると、多くの時間が学校行事との関連で計画されていた。昨年度のようにコロナウイルス感染症の影響で学校行事が中止となる中では、ほとんどの学習が成立しなくなるという課題があった。また、行事の練習の要素が強く、子どもたちが探究的な学習を通して資質・能力を高める学習としては不十分であると感じた。そこで、本年度「海の豊かさを守る」というテーマのもとに探究的な学習プロセスを大切に実践を行い、新たな総合的な学習の時間のカリキュラムを創ることを目指した。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

課題設定力 海の豊かさを守る学習を通して「なぜ？」を見つけることができる

課題解決力 「なぜ？」の答えを自分で見つけることができる

情報活用力 必要な資料やデータを集めることができる

対話力 友だちと協力して話し合いながら学習を進める

思考力 いつも「なぜ？」と考えて学習を進める

表現力 コンピューターで発表作品を作る

社会連携力 地域の人に調査活動の協力をしてもらうことができる

1-7. 単元の展開（全70時間）

時数	学習活動・主な内容	○教師の指導◇主な評価 ☆外部連携使*用教材等
1 1 5	1 姫島の海のことについて調べよう ①海辺を散策しよう ②課題・学習計画作り ③姫島で釣れる魚について調べよう ④姫島の海の豊かさについて考えよう ⑤マリンワールドを見学して、海の豊かさについて学ぼう	○タブレット端末を使った活動の振り返り ○主体性を引き出すめあてづくり ○安全に活動するための指導 ◇体験を通して「なぜ？」を見つけることができる（課題設定力） ◇地域の人に調査活動の協力をしてもらうことができる（社会連携力） ◇「なぜ？」と考えて学習を進める（思考力） ☆福岡 FUN 大神さん ☆マリンワールド海の中道 大西さん

4	<p>2 姫島の海の豊かさを味わおう</p> <p>シュノーケリング体験</p>	<p>○安全に活動するための指導</p> <p>○体験後のシェアリング</p> <p>◇「姫島の海は豊かなのか？」の答えを自分で見つけることができる（課題解決力）</p> <p>☆福岡 FUN 大神さん</p>
1 6	<p>3 姫島の海の豊かさを守ろう</p> <p>①これまでの学習の振り返りをしよう</p> <p>②海岸のゴミを拾おう</p> <p>③海のゴミについて調べよう</p> <p>④文化祭で豊かな海を守るための劇をしよう</p>	<p>○安全に活動するための指導</p> <p>○プレゼンテーションの作成</p> <p>○劇づくり ○海ダンス</p> <p>◇友だちと協力して話し合いながら学習を進める（対話力）</p> <p>◇コンピューターでプレゼンテーションをつくる（表現力）</p>
3 5	<p>4 海の豊かさを守る活動を広げよう</p> <p>①仲間とつながろう（他の離島の学校と交流）</p> <p>②プラスチックごみを集めてリサイクルしよう</p> <p>③活動の振り返りとまとめをしよう</p>	<p>○動画の作成 ○プレゼンテーションの作成</p> <p>○交流会の進行 ○活動の発表</p> <p>○プラスチックごみアートの作成</p> <p>◇友だちと協力して話し合いながら学習を進める（対話力）</p> <p>◇必要な資料やデータを集めることができる（情報活用力）</p> <p>◇タブレット端末を活用してまとめをつくることができる。</p> <p>☆福岡 FUN 大神さん</p> <p>☆福岡県海洋技術センター 中岡さん</p>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

GT（福岡 FUN の大神さん）の話を聞き、自分の探求したい課題を持つことができる

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	○教師の指導・支援 ◇ 評価の視点（方法）
<p>1 めあてづくり</p> <p>(1) 授業の内容について説明を聞き、めあてをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・それぞれめあてを jam ボードに書き込み発表する</li></ul> <p>めあて</p> <p><input type="text" value="大神さんの話を自分の考えと比べながら聞こう"/></p>	<p>○福岡 FUN の大神さんについて簡単に紹介する。</p> <p>○自分のめあてを持たせるために学習のゴールのイメージを持たせる。</p> <p>◇「なぜ？」を見つけようとしているか（めあての表記・観察）</p>
<p>2 リモート交流</p> <p>(1) あいさつ・自己紹介</p> <p>(2) これまでの学習についての説明</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・海岸の散策や釣り体験、地域の人たちへのインタビュー活動を通して、自分たちが捉えた姫島の海の豊かさについて説明する。</li></ul> <p>(3) 福岡 FUN よりプレゼン</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・福岡 FUN の活動について</li><li>・博多湾や姫島の海の現状について</li><li>・海の環境の問題について</li></ul> <p>(4) 質問・意見交換</p> <p>(5) 感想・お礼</p>	<p>○相手を意識して、はっきり、ゆっくり、聞こえる声で話すよう指導する</p> <p>○これまでの自分たちの学習の様子をプレゼンテーションスライドを使って説明させる</p> <p>○質問・意見が出せるよう、集中して福岡 FUN の大神さんの話と動画を視聴させる。</p>
<p>3 振り返り</p> <p>(1) 探求していきたいことを jam ボードに書き込む</p> <p>(2) 発表する</p> <p>(3) 振り返りをスプレッドシートに書き込む</p> <p>(4) 発表する</p>	<p>○これから調べていきたいことを考えさせ、タブレット端末を使って書き込ませる。</p>

### 3. 今回の活動の自己評価

本年度「海の豊かさを守る」というテーマのもとに探究的な学習プロセスを大切にした実践を行い、新たな総合的な学習の時間のカリキュラムをつくることができた。子どもたちは「海の豊かさとは何か」という課題を追究する中で、様々な人に出会い、体験し、そこで学んだことを文化祭や離島子ども交流会に向けて整理し、まとめ、表現するという探究のプロセスを経験した。その中で子どもたちは「なぜ」を見つける力や ICT を活用して表現する力など、様々な資質能力を伸ばしてきた。教室でほとんど聞こえないぐらいの声しか出せていなかった子が、学習を通して自信をつけ、声が大きくなってきた。また、島内のゴミ拾いを行う、海岸清掃のボランティアに参加するなど、子どもたちにこれまでに見られなかった主体的な行動が見られるようになった。それは、学習を通して、これまで身近すぎて気づくことのなかった「海の豊かさ」に触れ、海が大好きになり、この素敵な海を守っていきたいという気持ちが大きくなっていった結果であると言える。

### 4. 今後の課題

今回の研究を通して、子どもたちは課題に気づき、課題解決に向けて学び、行動する姿が見られるようになった。しかし、交流の場面では、その場の状況に応じて相手の質問に的確に応えたり、感想を述べたりする場面で課題が見られた。今後、自分なりの考えをしっかりと持つこと、そしてそれを的確に表現する力を付けることに取り組んでいきたい。

また、本年度取り組んできた「海の豊かさを守る」総合的な学習の時間のカリキュラムを土台としながら、今後も「海」をテーマにした総合的な学習に取り組み、海洋教育の充実に努めていきたい。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし